

じいちゃん出番 目指せ「ソフリエ」

ソフリエ 目指せ



孫の世話は、おじいちゃんに任せて。団塊世代の男性らに、ワイン専門家のソムリエならぬ、孫育て専門家の「ソフリエ」を目指してもらおうと、男女共同参画などに取り組むNPO法人「エガリテ大手前」(東京)が祖父向けの子育て指南書を作成、地方自治体などへの提供を始めた。

その名も「ソフリエ・ハンドブック」。2月には、北九州市がハンドブックを使った講習を開催。2日間の日程を修了した51、60代の男性3人に、頼れる祖父の証し

東京のNPO 孫育て指南書を作成

である「ソフリエ」の称号を授与した。

ハンドブックは、仕事に追われて子育てを妻任せにしていた男性らに向け、ミルクの飲ませ方やおむつ交換など子育てのポイントを初歩から解説。離乳食を始める時期など、親世代と祖父母世代との間で対立しやすい育児法をめぐる世代間ギャップについても、対処法とともに紹介している。

子育て世帯が親元近くに住む「近居」に対し自治体が助成するなど、孫育てへの関心は高まっている。

ただエガリテ大手前の古久保優嗣代表は「世代間ギャップのストレスなど、孫育ての負担は祖母に集中しがち」と指摘。「定年を迎え、孫育てに参加したいと思いがちやちよとしていく団塊世代の男性たちの潜在的な力を引き出したい」とハンドブックの狙いを話している。

1冊600円で、ネット購入が可能。注文は、古久保代表、電子メールアドレス mercury.ne.jp

東京 玉求 楽斤 幸辰

2010年(平成22年) 5月10日 月曜日